

## 第5回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

### 予防保全に関する検討委員会

#### 議事概要

#### ■ 第5回検討会：令和5年 3月23日（木）

##### 【議 題】

- ・舗装点検・診断に関する情報提供
- ・現場実証（試験施工）について
- ・全国から募集した新たな舗装技術（8社23技術）の紹介について

##### 【議事概要】

- 各委員及び事務局より舗装点検・診断に関する情報提供、現場実証（試験施工）、新たな舗装技術の紹介について報告があり、以下を確認した。

##### ◇舗装点検・診断に関する情報提供

- ・令和4年度に、AIを活用した舗装点検・診断（以降AI舗装点検）を全道15路線、対象区間約695km、車線延長約1,400kmの国土で試行し、令和5年度から北海道開発局にて本格運用。
- ・AI舗装点検を北海道や道内の市町村にどのように広めて、適用していくかが課題である。情報収集・発信、迅速な行動が重要である。
- ・AIのソフトがあれば、誰でも舗装点検・診断が可能となるが、評価が適正であるかチェックする体制の構築など、次の段階として検討することが重要である。

##### ◇現場実証（試験施工）について

- ・従来の北海道型SMAより、耐久性を高めるために配合を見直した北海道型SMAの実証（試験施工）を12月に稚内開建の幌富バイパスで実施した。
- ・改良型のSMAは、従来型に比べ骨材飛散抵抗に優れ耐久性向上が期待できる。
- ・締固め度は、従来型を上回る値であり、密実なアスファルト混合物と判断できる。

- ・改良型のSMAは、従来型と同一の機械、同一の転圧回数で施工を行い、初期の目標を満足することが確認できた。

◇全国から募集した新たな舗装技術（8社23技術）の紹介について

- ・積雪寒冷地特有の道路損傷に対応した舗装技術の募集を行い、全国から8社23技術の応募があった。
- ・今後、プラントの所在地、補修予定箇所、ニーズ等を勘案し、現場実証（試験施工）を実施予定。

以上